



『できる』ことを増やしていきましょう

園長 鳥塚 恵子

今年の夏は、猛暑と新型コロナウイルス感染症対策で、いつも通りの夏ではありませんでしたが、子どもたちの元気な笑顔に会えるのを楽しみにしていました。どのような夏休みでしたか。たくさんのお思い出と、そして2学期への期待感をもって幼稚園生活を始められたら嬉しく思います。

この夏を乗り切り、新学期を迎えられたことは、保護者の皆様の感染症予防対策へのご理解とご協力の賜物と感謝しております。まだまだ、感染症予防対策を行っていくことが大前提ではありますが、新しい生活様式を子どもたちにも分かりやすく伝えながら、今後もしっかりと対策を行ってまいります。

さて、今学期も子どもたちにとって、わくわく、ときどきの活動や行事がたくさんあります。それらを一つずつ味わい、楽しみ、心に受け止めながらステップアップして行ってほしいと期待をしています。そこで、2学期に子どもたちに期待することは、『できる』ことを増やしてほしいということです。特に、幼稚園生活のリズムを自ら生み出すことができる力を伸ばしていきたいと考えます。当初は、園生活のルーティンを確認しながら、繰り返し行うことで自信をもってできることを増やすとともに、自ら遊びを見付け出す力、そして、遊びを広げ、創り出す力、さらには、集団で思いを合わせて目標に向かって進んでいく力など、総合的に幼稚園生活の質を高めていけるようにしていきます。

そのことを子どもの側から考えると、幼稚園の生活が1学期よりも楽しいと感じられるようになるということと捉えます。運動会やごっこ遊び、音楽会などの大きな行事に全力で取り組むことがそのことの礎となります。子どもたちが積極的に活動に取り組むことができるよう、教職員みんなで援助してまいります。

ところで、この幼稚園教育では、豊かな体験を通じて、感じたり、気付いたり分かたりできるようになったりする資質・能力を育成することが求められます。そして、それらの力を活用して、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする力の育成も求められています。幼稚園は、生活の全てが学びの時間です。その学びの過程で、子どもたちが、自ら、できることを増やし、多様な力が伸びるように教育活動を進めてまいります。

幼保一元化施設である柳町こどもの森は、保育園の子どもたちにも、それぞれの発達段階に応じて自分でできる力を伸ばし、保育園生活を楽しめるような活動をたくさん取り入れていきます。

2学期も本園の教育活動・保育活動へのご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。